

「映像話法の理論と実践」実施案内

2023年8月24日(木)～2023年8月27日(日) 4日間

◆ 授業目的・概要

本講義の目的は、映像やサウンドを用いて研究対象を記録し“物語る”方法を学ぶことである。主に人類学、生物学、サウンドアート、シネマ等の観点から、様々な映像の記録と表現について学ぶ。講師自身の制作した作品や資料をとりあげ、それらのアプローチについて考察する。本講義では、受講生自身が、作品を制作する上での基礎的な映像話法の理論と方法論を習得することを目指す。

◆ 担当教員

川瀬慈(総合研究大学院大学 人類文化研究コース 准教授)
森部絢嗣(岐阜大学応用生物科学部 准教授)
柳沢英輔(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 特任助教)
Laurent Van Lancker (エクス=マルセイユ大学人類学部 教授) ほか

◆ 日程・開催場所等

単位数 : 1単位
使用言語 : 日本語、英語
開催場所 : 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲長瀬 1550 縁舎

【日程】

8月24日(木)

14:00 - 15:00 集合・全体説明 川瀬慈

15:00 - 18:00 講義と演習『映像話法の理論と実践』川瀬慈

8月25日(金)

9:30 - 12:00 講義『野生動物資源学における映像活用』森部絢嗣

13:00 - 18:00 講義と演習『音の記録と表現』柳沢英輔

8月26日(土)

9:30 - 12:00 講義『Experimental Cinema』Laurent Van Lancker

13:00 - 18:00 フィールドワーク、映像制作

8月27日(日)

9:30 - 12:00 発表、総括

午後 解散

※上記の講義時間と講義内容の詳細については、今後調整し受講者に通知する。

◆ 申込方法

参加申込方法:

在学生は、Campus Plan から履修登録を行うことをもって参加登録とします。

Campus Plan については [Website \(https://www.soken.ac.jp/campuslife/campusplan/\)](https://www.soken.ac.jp/campuslife/campusplan/) をご確認ください。履修登録期間を過ぎている場合は、国立民族学博物館研究協力係総研大担当までご連絡ください。

他大学の方で聴講を希望される方は、国立民族学博物館研究協力係総研大担当までお問い合わせください。

なお、申込多数の場合は、選考により、参加者を決定させていただく場合があります。

宿泊等について:

本学学生については、1人あたり6万円を上限として交通費および宿泊費の一部(所定額)を後日、大学より支給します(銀行振込)。

◆ お問い合わせ先

国立民族学博物館研究協力係総研大担当

E-mail: souken@minpaku.ac.jp

電話: 06-6878-8308(直通)